

日本財団 2022年度助成金(通常募集) 社会福祉、教育、文化などの事業に関する説明会

説明会資料

日本財団2022年度助成金(通常募集)「社会福祉、教育、文化などの事業」に関する説明会

開催日時



- ・2021年 8月18日 (水) 14:00~15:00 社会的養護、虐待予防、妊娠SOS支援、難病児支援、ヤングケアラー等
- ·2021年 9月 2日(木) 14:00~15:00 障害者就労支援
- · 2021年 9月14日 (火) 11:00~12:00 若年層への自殺対策、障害者の芸術活動支援
- ·2021年 9月22日(水) 11:30~12:30 聴覚障害者支援
- ・全ての回で、はじめに全体説明(共通の内容)がございますので、該当するカテゴリがない団体はどの回に出ていただいても構いません。

本日のアジェンダ



- ・2022年度助成金申請(通常募集)について(約15分)
 - ・説明会参加にあたってのお願いと注意点
 - ・助成活動と説明責任(広報活動と成果の公表)
 - ・2022年度助成金申請ガイド(通常募集)
 - ・2022年度 支援の柱「社会福祉、教育、文化などの事業」
 - ・審査の視点
 - ・採択実績の少ない事業について
 - ○事業の目的(目指す状態)や事業内容・計画の側面で見ると
 - ○事業費の側面で見ると
 - ・申請頂く際のフォーム入力項目や補助資料等に関する補足
 - ・申請手続き・申請受付期間
- ・非営利組織評価センターによる組織評価について(約10分)
- ・テーマ説明(10~20分)
- 質疑応答(10~15分)

説明会参加にあたってのお願いと注意点



- 「Q&A」機能にてご質問を受け付けています。※「チャット」機能のご使用はお控え下さい。
- ・録画はご遠慮ください。説明会資料は日本財団公式サイトで公開します。
- ・「2022年度助成金申請ガイド」を日本財団公式ウェブサイト上で公開しております。
- ・今回の助成説明会でお伝えする内容は、助成事業の審査時に考慮するポイントです。助成申請時の一助になればと考え、説明会を企画しました。説明会後、助成金申請ガイドの詳細をご確認の上、申請をご検討下さい。
- ・日本財団は助成金の交付決定にあたり、当財団の理事会の決議を得た後、 国土交通大臣の認可を受けることとなっています。
- ・今後の説明会の参考・改善のため、「アンケート」へのご協力をお願いします。

説明責任(広報活動と成果の公表)

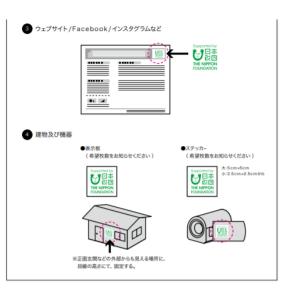


日本財団による助成金の提供はボートレースの 売上の一部を財源としています。

この助成金を活用した事業は、社会をより良くするために行われることが期待されています。

また、成果についても、社会に対して説明責任が伴います。そのため、別途指定するウェブサイトを利用し、積極的な広報活動および助成活動の成果を公表していただく必要がございます。





2022年度 支援の柱 「社会福祉、教育、文化などの事業」



社会が複雑化し、様々な課題に直面するなか、行政による施策や公的サービスだけでは支援の手が行き届かない問題がたくさんあります。わたしたちは、このような問題を解決するため、いろいろな組織を巻き込んで、新しい仕組みを生み出し、「みんながみんなを支える社会」の実現を目指して、主に次のテーマを柱に支援します。

- (1) あなたのまちづくり(つながり、支えあう地域社会)
 - ア. 障害者の地域生活や社会参加を支える仕組みづくり
- (2) みんなのいのち (一人ひとりを大事にする地域社会)
 - ア. 在宅看取りの推進
 - イ. 医療依存度の高い子どもと家族を地域で支える取り組み
- (3) 子ども・若者の未来(人を育み、未来にわたす地域社会)
 - ア. 子どもが家庭で健やかに暮らすための取り組み
 - イ. 困難に直面する子どもの生き抜く力を育む居場所づくり ※「子ども第三の居場所」を含む
- (4) 豊かな文化(豊かな文化を培う地域社会)
 - ア. 障害の有無を超えた価値ある芸術作品を、社会に伝え広める取り組み
- (5) コロナ時代の社会を変える
 - ア. コロナ危機を乗り越えるための社会のあり方を実践する取り組み

2022年度助成金申請ガイド(通常募集)



- ・対象となる団体
- ・対象となる事業
- ・助成金の上限金額・事業費総額に対する助成金の補助率
- ・対象となる経費
- ・申請手続き・申請受付期間
- ・結果の通知
- ・審査の視点
- 助成事業の流れおよびご注意いただきたいこと
- ・ 個人情報の取り扱いについて
- ・助成事業の申請に関する質問
- ・リンク一覧

く主な注意点>

・申請手続きにはGoogleフォームを使用します。 フォーム入力中は一時保存ができませんので、ご注意ください。 質問事項は全65個です。

関連リンク: 2022年度 助成金申請ガイド (通常募集)

2022年度 助成金申請ガイド(通常募集) 1. ご案内 2. 対象となる団体 3. 対象となる事業 4. 助成金の上限金額・事業費総額に対する助成金の補助率 5. 対象となる経費 6. 申請手続き・申請受付期間 7. 結果の通知 8.審査の視点 9. 助成事業の流れおよびご注意いただきたいこと 10. 個人情報の取り扱いについて 11. 助成事業の申請に関する質問 12. リンク一覧 <主な注意点> 1. 申請手続きにはGoogleフォームを使用します。 フォーム入力中は一時保存ができませんので、ご注意ください。 質問事項は全65個です。 2. 以下のプロジェクトにご申請の場合は、各プロジェクトページにて申請手続きを行ってください。 「海と日本PROJECT」はこちら 「子ども第三の居場所」新規開設・運営はこちら ※「子ども第三の民場所」の継続申請の場合は、本ページにて申請手続きを行ってください 助成金申請 (通常募集) 解説動画

今回の助成説明会でお伝えする内容は、助成事業の審査時に考慮するポイントです。助成申請時の一助になればと考え、説明会を企画しました。 助成金の交付決定は、理事会の決議を得た後、国土交通大臣の認可を受けることをご了承ください。

対象となる団体



- ・日本国内にて次の法人格を取得している団体:
 - 一般財団法人、一般社団法人、公益財団法人、公益社団法人、社会福祉法人、特定非営利活動法人 (NPO法人)など非営利活動・公益事業を行う団体
- ・一般社団法人・一般財団法人は非営利型のみを対象とします。
 - ・※非営利型には要件がございます。

国税庁ウェブサイト「新たな公益法人関係税制の手引」 5ページ〈非営利型法人の要件〉をご確認下さい。

審査の視点



(4)	火口 公中	(中)丰田(4)
	州田和政	(甲請団体)

【信頼性】

組織や活動についての情報公開を適切に行っているか、または外部機関による組織評価を受けているか

(2) 事業の目的(目指す状態)

【社会的インパクト】 【モデルの構築】 【革新性】 取り組む社会課題が明確かつ、成果の波及効果が大きいか

先駆的な取り組みか、またはユニークな手法により今後他のモデルとなりえるか

旧来のしくみを変えていくか

(3) 事業内容·計画

【計画性】 【連携とその効果】 【広報計画】 【成果測定】 【継続・発展性】 事業の目標が目的に沿って明確に設定されているか 目標を実現するための事業計画・資金計画が適正かつ合理的であるか

多様な関係者を巻き込み、事業の社会的意義を高めるとともに効果的に実施する工夫があるか

効果的な情報発信や広報の工夫がされているか

計画段階で成果の測定指標を設け、今後の展開や改善に向けた成果測定に積極的に取り組むか

助成終了後においても自主財源にて同事業を継続、発展させる具体的計画があるか

関連リンク:2022年度 助成金申請ガイド(通常募集) 8. 審査の視点

採択実績の少ない事業について



事業の目的(目指す状態)や事業内容・計画の側面で見ると

- ・成果物を配布する(調査報告書配布、DVD配布など)ことで完了する事業
- ・研究事業、学会事業組織の環境改善に重点を置く事業
- ・事業の受益者が関係者(特定の機関・組織)や自治体などの事業
- ・これまで他団体の助成金や自己資金で行ってきた事業
- ・老朽化や故障に伴う機器整備を目的とする事業、整備後の利用が検討されていない事業

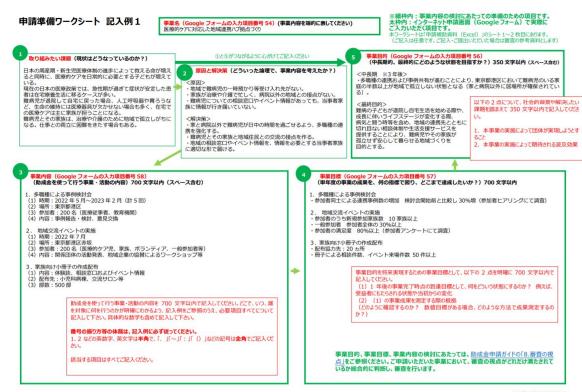
事業費の側面で見ると

・事業の実施の多くを外部組織との契約で行うことを計画している事業

申請準備ワークシート



- 取り組みたい課題 (現状はどうなっているのか?)
- ・原因と解決策 (どういった論理で、事業内容を考えたかのか?)
- ・事業内容
 (助成金を使って行う事業・活動の内容)
- 事業目的 (単年度の事業の成果を、 何の指標で図り、どこまで達成したいのか?)
- ・事業目標 (中長期的、最終的にどのような状態を目指すか?)



関連リンク: 「<u>申請準備ワークシート」の記入例(PDF/1.27MB)</u>申請補助資料に含まれる「申請準備ワークシート」の記入例です。

申請補助資料のダウンロード(Excel/189KB) 申請に必要な資料をダウンロードできます。



2022年度 助成金申請ガイド(通常募集)

- 1. ご案内
- 2. 対象となる団体
- 3. 対象となる事業
- 4. 助成金の上限金額・事業費総額に対する助成金の補助率
- 5. 対象となる経費
- 6. 申請手続き・申請受付期間
- 7. 結果の通知
- 8. 審査の視点
- 9. 助成事業の流れおよびご注意いただきたいこと
- 10. 個人情報の取り扱いについて
- 11. 助成事業の申請に関する質問
- 12. リンク一覧

<主な注意点>

1. 申請手続きにはGoogleフォームを使用します。

フォーム入力中は一時保存ができませんので、ご注意ください。 質問事項は全65個です。

2. 以下のプロジェクトにご申請の場合は、各プロジェクトページにて申請手続きを行ってください。

「海と日本PROJECT」はこちら

「子ども第三の居場所」新規開設・運営はこちら

※「子ども第三の居場所」の継続申請の場合は、本ページにて申請手続きを行ってください。

助成金申請

(通常募集)

解説動画



URL:

https://www.nippon-foundation.or.jp/grant_application/programs/common

申請の手順に関するもの

□ 日本財団助成事業の流れ(PDF / 441KB)

当財団の助成事業の流れについて、段階ごとに記載しています。

□ 事業目的、事業目標、事業内容の記入例(PDF / 750KB)

当財団にて作成した記入例です。

□ 「申請準備ワークシート」の記入例(PDF / 1.27MB)

申請補助資料に含まれる「申請準備ワークシート」の記入例です。

申請補助資料のダウンロード (Excel / 189KB)

必ず最新の資料をダウンロードしご利用ください。

□ 電子契約手順(PDF / 745KB)

2022年度事業より、原則電子契約となります。手順の概要を記載しています。

申請に進む



通常募集の申請の流れ

- ↓ 申請方法
- ↓ 申請の注意点
- 1. 申請方法

日本財団の申請はインターネット上で受け付けます。郵送での申請受付は行ってお

STEP1.Googleアカウントの取得

(既に取得済み、使用中のアカウントがある団体は、新規アカウントの取得は必要)

☑ 新規アカウント取得はこちら(随時取得可能)

STEP2.申請の準備

Googleフォームへの入力は一時保存ができません。 入力前に「下書きシート(申請補助資料内)」の作成を推奨いたします。

申請補助資料(Excel)をダウンロードし作成してください。 Googleフォームでの申請時に添付が必要ですので、予め作成をお願いします。 URL:

https://www.nippon-foundation.or.jp/grant_application/guide

STEP3.申請

申請受付期間:2021年10月1日(金)12:00~2021年10月29日(金)17:00まで

• 申請手順マニュアルをご覧になりながら、申請を行ってください。

☑ インターネット申請はこちら

2022年度通常募集の申請フォーム

- ◆注意事項(ご申請にあたって)
- ·申請受付期間:2021年10月1日(金)12:00~10月29日(金)17:00
- ・「海と日本PROJECT」及び「子ども第三の居場所」へのご申請も本Googleフォームをご使用下さい。
- ・締切直前はサイトが大変混み合うことが予想されます。コンピュータ等の障害や通信回線 の混雑等によりシステムが中断・遅滞した場合の申請の遅延につきましては、個別の対応を いたしかねます。余裕を持ったお手続きをお願いいたします。
- ◆注意事項 (Googleフォーム入力について)
- このフォームは一時保存ができません。
- ・申請後の訂正操作及び内容の変更はできません。
- ・入力欄内の「改行」「スペース」は1文字にカウントされます。
- ・文字化けの発生を防ぐため、環境依存文字の使用や不要なスペースの挿入はお控え下さい。
- ◆メールアドレスの登録
- ・! gleフォーム回答のコピー)を受信するメールアドレスをご入力下さい。

ファイルをアップロードしてこのフォームを送信すると、Google アカウントに関連付けられている名前と写真が記録されます

shinsei_uketsuke03@ps.nippon-foundation.or.jp ではないですか? アカウントを切り替え

*必須

メールアドレス*

メールアドレス



2022年度通常募集の申請フォーム

- ◆注意事項(ご申請にあたって)
- ·申請受付期間: 2021年10月1日(金) 12:00~10月29日(金) 17:00
- ・「海と日本PROJECT」及び「子ども第三の居場所」へのご申請も本Googleフォームをご使
- 用下さい。
- ・締切直前はサイトが大変混 の混雑等によりシステムが中 いたしかねます。余裕を持っ
- ◆注意事項 (Googleフォーム
- このフォームは一時保存力
- 申請後の訂下操作及び内容
- ・入力欄内の「改行」「スペ
- ・文字化けの発生を防ぐためい。
- ◆メールアドレスの登録
- 申請受領メール (Google)い。

ファイルをアップロードしてている名前と写真が記録され

@ps.nip

アカウントを切り替え

*必須

メールアドレス*

メールアドレス

Googleフォームを使用した申請手続きでは、フォーム入力中に一時保存ができません。 入力項目は全部で65個あります。入力前に下書き資料の作成をおすすめします。

申請の手順に関するもの

□ 日本財団助成事業の流れ(PDF / 441KB)

当財団の助成事業の流れについて、段階ごとに記載しています。

□ <u>事業目的、事業目標、事業内容の記入例(PDF / 750KB)</u>

当財団にて作成した記入例です。

□ 「申請準備ワークシート」の記入例(PDF / 1.27MB)

申請補助資料に含まれる「申請準備ワークシート」の記入例です。

▶ 申請補助資料のダウンロード (Excel / 189KB

必ず最新の資料をダウンロードしご利用ください。

□ 電子契約手順(PDF / 745KB)

2022年度事業より、原則電子契約となります。手順の概要を記載している。

申請に進む



(記入例)

下書きシート(Googleフォーム転記用)

申請補助資料のダウンロード(5シート)

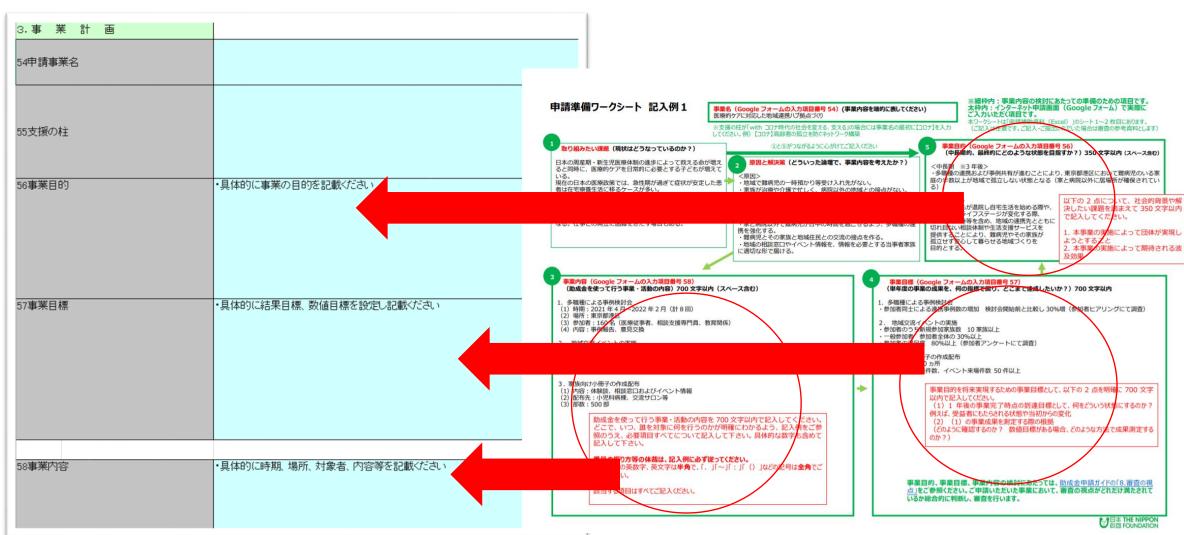
- ・収支予算書等入力フォーム【提出必須】
- · 収支予算書等(記入例)
- ・下書きシート(Googleフォーム転記用)
- ・申請準備ワークシート(任意提出)
- ・申請準備ワークシート(記入例)

14

半角数学で入力してください。2ヵ所に半角ハイフンを入 |横||03-|234-5579||太るいは 090-0123-4557

申請準備ワークシート





申請手続き・申請受付期間



Googleフォームを使用した申請手続きとなります。

今一度ご確認をお願いします。

STEP1. Googleアカウントの取得

STEP2. 申請の準備

Googleフォームを使用した申請手続きでは、フォーム入力中に一時保存ができませんのでご注意ください。 質問事項は全65個です。入力前に下書き資料の作成を推奨いたします。

STEP3. 申請 ※インターネットによる申請のみ

2021年10月1日(金) 12:00~2021年10月29日(金) 17:00まで

(注意:10月29日(金)17:00までに送信ボタンを押し、「申請受領メール」を受け取った事業が対象となります。)

関連リンク: 2022年度 助成金申請ガイド (通常募集)

「申請準備ワークシート」の記入例 (PDF/1.27MB) 申請補助資料に含まれる「申請準備ワークシート」の記入例です。

申請補助資料のダウンロード(Excel/189KB) 申請に必要な資料をダウンロードできます。

申請後のスケジュール、注意点



2021年10月 申請受付

2021年11月~翌年2月 審査

2022年3月 審査結果のお知らせ

2022年4月 (採択の場合)助成契約書の締結 ※原則電子契約となります。

事業の実施

・進行報告書の提出

・成果物の公開

~2023年3月 完了報告書の提出

※採択された団体には、非営利組織評価センターによる組織評価を受けていただく場合があります。